

# SOTOKU

崇徳学園同窓会  
関東支部  
会報  
— 第28号 —

発行：崇徳学園同窓会関東支部 編集：支部事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷4-37-20

<http://sotokukanto.gl.xrea.com/> [mail:sotoku\\_kanto@yahoo.co.jp](mailto:sotoku_kanto@yahoo.co.jp)

ホテル機山館  
TEL (03) 3812-1211(代) FAX (03) 3816-1218

## 新しい時代を創造しよう

— 幅広い人材教育の母校をみんなで支援しましょう!! —

崇徳学園同窓会関東支部会長 室崎 宏治 (昭和46年卒)

こんにちは。昨年第31回総会より黒川 弘会長(昭和33年卒業)より引継ぎしました室崎宏治です。よろしくお願いいたします。  
わたしは中学より崇徳学園にお世話になっておりました。京都大学に進学し、京葉瓦斯株式会社に勤めておりました。この会社は、柔道部が有名です。崇徳の卒業生も沢山います。

さて、数年のあいだに、世界は大きく変貌をとげました。東日本大震災や熊本大地震の復興がままならないうちに、去年は北海道胆振東部地震が起き、数多くの台風が日本列島を縦断して、多くの人々が被災しました。世界では民族や宗教による対立が激化し、多くの難民が生み出されて、各国のこれまでの協力体制や連携にひずみが生じています。イギリスの離脱交渉で揺れるEU、一国主義へ傾斜するアメリカ、流動化する東アジア情勢など、こういった世界の急速な動きのなかで、皆さんは何を考え、どういった決意を新たにしてきたのでしょうか。

生命に関する考え方も大きく変わりました。去年は中国でゲノム編集による双子が誕生し、デザイナーベビーに向けて生命倫理に関する議論が白熱しています。今年に入ってゲノム編集によるサルのコロニーも誕生しました。日本でもiPS細胞やES細胞を用いた医療技術が急速に進展し、人の臓器がブタの体内で作成される時代になりました。生命環境や人間観をめぐるさまざまな倫理的問題が浮上してきています。そこには、単に病気を治すというだけでなく、人間の命の始まりや遺伝的なシナリオに手を加えるという可能性が広く開けているからです。それは、社会の年齢構成や人生計画を大きく左右して、未来社会の動態に影響を与えます。また、医療がビジネスと結びつき、バイオベンチャーとして巨大な富を生み出し、世界の経済を動かす動因にもなりつつあります。私たちは今こそ、さまざまな生命の長大な歴史を振り返りつつ、生物としての人間、文化を持つ社会的な存在としての人間を総合的に見つめなおさなければなりません。

これからの社会は、Society 5.0と呼ばれる超スマート社会です。そこではICT機器が威力を発揮して人々や物をつなぎ、ロボットやAIが多くの仕事を代替することになって、互いの顔が見えなくなるかもしれません。しかし、そういった社会でこそ、人々が触れ合い、生きる力を発揮して世界と向き合うことが大切になると思います。世界は資本集約型や労働力集約型から知識集約型社会に変貌しようとしています。日本も東京一極集中型の経済から地域分散型の経済へと脱皮しようとしています。その動きを作るのは今からの課題と皆さんの力です。

これからの社会は、これまでにない人間観や自然観が必要です。先端的な科学技術にすべてを依存するのではなく、これまで時代遅れと見られてきた考え方を拾い集めて未来を見つめ直すことも重要になるでしょう。温故知新、ふるきをたずねて新しきを知ることは、ますます必要とされています。現代は情報技術やコミュニケーション技術が急速に発展し、いつでもどこでも、簡単に既存の知識にアクセスできるようになりました。膨大な映像が情報機器を通じて無料で流され、もはや、書物は知識を得る唯一無二の手段ではなくなりました。しかし、社会を先導するイノベーションには科学技術だけでなく、人文学、社会科学的な学知と共に確かな人間観が不可欠であり、それを総合的な学術研究の蓄積から見直さなくてはなりません。

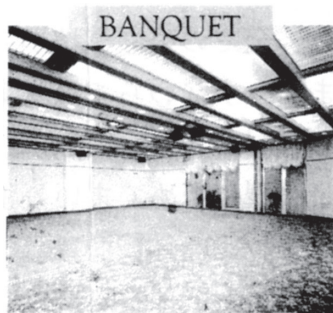
## 7月6日(土) 12:00より本郷三丁目集まる。

都心に近く、騒音に遠く交通至便の所  
優雅・閑静本郷随一の

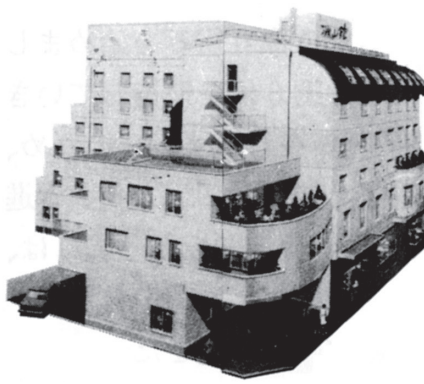
ホテル機山館

代表取締役 重本 康成  
(昭和48年卒)

株式会社 機山館  
〒113-0033  
東京都文京区本郷4-37-20  
TEL (03) 3812-1211(代)  
FAX (03) 3816-1218



最新の設備を整えた宴会室。  
大小5ヵ所の部屋(5名~150名収容)をご用意。  
照明、音響など、どれをとっても重厚かつ格調ある空間づくりです。  
会議室としてもご利用いただけます。





現代の問題は、「将来は現在より良くなるはず」という希望を支える資本主義の原則、すなわち「経済成長は至高の善」という理念が崩れ始めているということでしょう。私が京都大学の学生だった1970年代初頭はまだ日本が高度成長時代で、すぐ先に明るい未来が見えているような気がしていました。大阪で万国博覧会が開かれ、科学技術によって次々に新しい可能性が切り開かれようとしていることが実感できました。しかし、やがて公害問題や温暖化などの環境劣化が地球規模で急速に進んでいることが明らかになりました。その後、「持続的な開発」が謳われ、地球の劣化を防ぐための国際協約がいくつもできました。地球の資源は有限であり、人間が発展する道には限界があることが共通理念となったのです。日本の産業界もパリ協定で謳われたSDGs（持続可能な開発目標）を基に企業倫理や戦略を掲げるようになりました。これからの社会には、地球規模で生物多様性や人間社会を包摂的にとらえる思考方法が不可欠になります。

崇徳学園には創造の精神を尊ぶ伝統があります。まだ誰もやったことのない未知の境地を切り開くことこそが、崇徳学園の誇るべきチャレンジ精神です。皆さんのなかにもさまざまな突出する能力を身につけ、すでにそれを発揮して活躍している方が多いだろうと思います。しかし、忘れてはならないのは、自分と考えの違う人の意見をしっかりと聞くことです。しかも複数の人の意見を踏まえ、直面している課題に最終的に自分の判断を下して立ち向かうことが必要です。

しかし、現代社会ではこの調和が崩れ、多様な考えを持つ人々の共存が危うくなっているのも事実です。皆さんもこれからの人生でこの難題に直面する事態に出会うことでしょう。そのとき、崇徳学園の自由な討論の精神を発揮して、果敢に自らの課題に向き合ってほしいと思います。皆さんがこれから示すふるまいや行動は、崇徳学園同窓会の一員として世間の注目を浴び、皆さんの後に続く在校生たちの指針となるでしょう。これから皆さんの進む道はさまざまに分かれていきます。しかし、将来どこかで再び交差することがあるはずで、そのときに、崇徳学園の卒業生として誇れる出会いをしていただけることを私は切に願っております。

現代は国際化の時代といわれます。皆さんの将来活躍する舞台も、日本という国を大きく越えて世界に広がっています。地球社会の調和ある共存のために、解決すべき課題がたくさんあります。自然資源に乏しいわが国は先端的な科学技術で人々の暮らしを豊かにする機器を開発し、次々にそれを世界へと送り出してきました。海外へと進出する日本の企業や、海外で働く日本人は近年急激に増加し、日本の企業や日本で働く外国人の数もうなぎのぼりに増加しています。皆さんがその流れに身を投じる日がやがてやってくると思います。そのためには、日本はもちろんのこと、諸外国の自然や文化の歴史に通じ、相手に応じて自在に話題を展開できる広い教養と、常識を疑いつつ真理を追求する気概を身につけておかねばなりません。理系の学問を修めて技術畑に就職しても、国際的な交渉のなかで多様な文系の知識が必要になるし、文系の職に理系の知識が必要な場合も多々あります。世界や日本の歴史にも通じ、有識者たりうる質の高い知識を持っていなければ、国際的な舞台でリーダーシップを発揮できません。学校の学びだけではなく、海外の文化や自然を自ら体得するフィールドワーク的な企画です。海外の多様な人々との対話を通じて、新しい学びの場で世界に貢献できる独創的な能力を育てていくことが必要だと思っています。

世界は今、資源集約型社会、労働力集約型社会から知識集約型社会へと変貌を遂げようとしています。そこでは情報が大きな価値を持ち、情報通信技術や人工知能（AI）が大きな力を発揮するでしょう。病気の早期診断や新しい薬の開発にすでにこうした技術が応用されています。膨大なデータからAIが病因を見つけ出し、適切な治療法を考案して適用し、やがて医療ロボットが的確で安全な手術を行うようになるでしょう。京都大学の山中伸弥先生のiPS細胞研究所では、iPS細胞を利用してさまざまな新薬の開発や治療方法の創出を実現しています。栄養価が高く、安全で収量の多い栽培植物や、成長が早く美味しい肉の生産にもこれらの技術が役立っています。自動運転を可能にするドライバーモニタリングシステムやスマートシティセンシング、カメラとAIを用いた商品識別技術、多言語自動翻訳技術、災害情報分析技術など、新しい技術が次々に生み出されています。それは私たちの暮らしを大きく変えるでしょう。2045年にAIが人間の脳を超えるシンギュラリティ（技術的特異点）の到達を予測する議論さえ行われています。

さて昨年、ノーベル生理学・医学賞を受賞した京都大学の本庶佑先生は、がん細胞を攻撃する免疫細胞にブレーキをかけるタンパク質「PD-1」を発見し、画期的ながん免疫療法を開発しました。長年の研究の末に、本庶先生はがん細胞が自身の持つPD-L1をPD-1と結合させT細胞の機能を抑えることで、自身を排除しようとする免疫から逃れていることを明らかにしました。次に、PD-1に対する抗体を作製し、がん細胞のPD-1との結合を阻害してT細胞の免疫力を発揮させ、がん細胞を排除する仕組みを

銀座 Bone(スホーカフ)	東京都中央区銀座 7-7-7 777ビルB1(03-3289-7080)	銀座 メル(クラブ)	東京都中央区銀座 8-6-18 奥村ブティックビル6F(03-6280-6641)
銀座 ロードトゥスター(ライブ)	東京都中央区銀座 8-7-8 GINZA8ビル7F-A(03-3572-8787)	広島 らどんな(クラブ)	広島県中区流川町 1-25 ジャパンプラザビル5F(082-245-3633)
銀座 バレル(バー)	東京都中央区銀座 8-7-8 GINZA8ビル7F-B(03-6263-8998)	銀座 104 GOLF ACADEMY(ゴルフスクール)	東京都中央区銀座 7-8-8 isgビル7F(03-3571-2234)
月島 カーブ串焼き(串焼き)	東京都中央区月島 3-27-2 三洋ビル1F(03-6204-2115)		
銀座 竹川(割烹クラブ)	東京都中央区銀座 7-7-12 ニューコパビルビル1(03-6274-4649)		
銀座 オルフェマティオ(クラブ)	東京都中央区銀座 8-6-24 銀座会館B1(03-3572-2347)		
銀座 セブンティセブン(クラブ)	東京都中央区銀座 8-5-15 SVAX GINZAビル7F(03-6218-4649)		
銀座 オルフェ(クラブ)	東京都中央区銀座 8-6-18 奥村ブティックビル2F(03-3572-2306)		
銀座 オルフェオ(クラブ)	東京都中央区銀座 8-6-18 奥村ブティックビル2F-A(03-3572-2306)		
銀座 加賀美(クラブ)	東京都中央区銀座 8-7-8 GINZA8ビル8F(03-3571-8778)		
銀座 らどんな(クラブ)	東京都中央区銀座 8-5-6 中島商事ビルB1(03-6263-8922)		

いつでもお気軽に  
お問い合わせください。

会長  
**長瀬 敏夫** (昭和51年卒)

有限会社オルフェ  
株式会社カンパニー24  
〒104-0054  
東京都中央区勝どき 2-18-1 レイメイビル202  
TEL (03)6204-9400 FAX (03)6204-9420



開発したのです。その成果として、オブジーボやキイトルーダといった免疫チェックポイント阻害剤が製品化され、現在世界中のがん患者に使われています。従来のがん細胞を除去したり、破壊したりする手術や、放射線や抗がん剤を使う治療法とは全く異なる治療法であり、がん治療の未来に大きな光を投げかけています。本庶先生のノーベル賞受賞は、地道な基礎研究の成果を、常識を覆す治療法と画期的な創薬の開発という応用研究まで広げたことが、人類の救済に役立ったと評価されたのだと思います。山中先生とともにノーベル賞を受賞された研究者が二人も現役で教員として活躍しています。1949年に湯川秀樹先生が日本初のノーベル物理学賞を受賞してから今年で70年目を迎えます。時代は変わり、科学技術は急速に進歩したとはいえ、創造の精神は不変であり、学術研究の先導的地位も変わってはいません。昨年は、柏原正樹先生が、生涯にわたる群を抜く業績を挙げた数学者に贈られるチャーン賞、そして日本が誇る国際賞の京都賞を受賞されました。これらの先生の後に続く若い研究者が続々と出てくることを期待しています。

144年の歴史を持つ崇徳学園は、新しい校舎も建設が出来、ハード面で新しく女子学生も入れる体制ができ、2020年4月より特別進学コースから受け入れを始め、2021年度から中学も含め全面的に共学になるそうです。これからの女性にも多いに期待できる場所です。又、スポーツも期待できます。

7月6日（土曜日）の12時からの機山館での関東支部総会で盛大に盛り上がりましょう。

## 大胆な教育改革

崇徳学園理事長 奥田 耕造（昭和40年卒）

今年もお招き頂きありがとうございます。崇徳学園関東支部総会が、ここ機山館で開催され、皆様のお元気を拝見できる事は、大変喜ばしく何時までも続くことを願っています。

「崇徳学園は大胆な教育改革を行っています」と昨年この場で申し上げましたが、本年3月に、2020年からの男女共学と新校舎竣工を、マスコミ各社を招いてプレス発表しました。地元ではテレビや新聞でニュースとして大きく採り上げられました。

崇徳学園は、明治維新後の1875年に創設以来、文武両道の男子校として社会に多くの人材を輩出してきましたが、情報化やグローバル化の急激な進展、男女共同参画社会に向けた意識の変革が求められる中、変化に対応し社会に貢献できる人材の育成を目指して、2020年4月から男女共学を開始することと致しました。

また校舎増改築工事は、皆様方からの貴重な寄附を頂きながら、3年掛けて先頃完成し、供用を開始しています。

これは、女子生徒にも対応した設計になっています。

最新の設備を備えたラーニングコモンズや川に面した明るいランチルーム、各教室にはプロジェクターを設置しており、充実した教育環境が整備されたと思っています。

現在の男子生徒に、女子を迎え入れ、学力、スポーツ、文化あらゆる分野で自分の能力に果敢にチャレンジでき、生徒一人ひとりが輝くことができる学校に行きたいと思えます。

又、2018年8月1日から関東支部メンバーの應武篤良君を硬式野球部監督として崇徳学園は、迎え入れる事が出来ました。これは、関東支部の皆様、新日鉄住金様の、多大な協力を頂いたおかげです。有り難う御座いました。学園として、野球環境整備を進めてまいりたいと思っています。

崇徳学園は、建学144年の歴史があります。我々は、建学の精神をしっかりと継承し、良き伝統を守りつつ時代の流れを慎重に読み取り、新たな取り組みを行って参ります。

これからも地域社会の皆様や同窓生の皆様のご理解、ご支援を頂きながら学園運営を行って参る所存です。引き続き、宜しくお願い致します。

**名門復活**  
令和は  
**崇徳**が時代をつくる

崇徳高校バレーボール部 OB同友会  
副会長 早田 功

**頑張れ！崇徳高校バレーボール部**

鹿児島焼酎多数取扱い！！  
ビール、日本酒、洋酒等  
お酒の事なら何でも！

株式会社 早田酒店

代表取締役 早田 功（昭和51年卒）  
広島市安佐南区山本7丁目8-14  
TEL：082-874-0178

## 新校舎のもと、更なる飛躍を目指して

崇徳中学校・高等学校 校長 高木 哲典  
(昭和56年卒)

本年度も崇徳学園同窓会関東支部総会がこのように盛大に開催されますことお慶び申し上げます。平素より関東支部の皆さまをはじめ、全国でご活躍されている同窓の皆さまのご支援を賜っておりますことが、学校の大きな支えとなっておりますことに感謝申し上げます。昨年、7月6日から降り続いた豪雨により各地において災害が発生し、多くの方々が犠牲となられ被災されました。

西日本豪雨災害により被災された方々に改めまして心よりお見舞い申しあげると共に、犠牲となられた方々に心よりお悔やみ申しあげます。ところで、昨年、総会に出席させて頂き同窓の皆さまにお会いできることを楽しみにしておりましたが、ちょうど総会の前日の広島はその大雨に見舞われ、交通機関も乱れ、やむなく出席を断念致しました。6日の夜には雨は深刻な状況となり、急遽翌日の休校措置をとりました。7日になって各地での被害の状況が次第にあきらかになる中、生徒の安否確認を行いました。お陰さまで本校にご縁をいただく生徒は無事でしたが、家屋の被害を受けた家庭がありました。一方で、犠牲となられた方々の中に同窓の方がおられることもわかりました。改めて犠牲となられた方々に心よりお悔やみ申しあげます。

さて、145年目を迎える崇徳学園では、中学生69名、高校生360名の新入生を迎え、新たに完成した校舎のもと、新年度をスタートすることが出来ました。校舎建設の際には、多くの同窓の方々より尊いご寄付を賜り、多くの皆さま方のお陰により完成したことに感謝申し上げます。新校舎には、普通教室や選択教室の他、生物室や物理室などの理科教室、家庭科実習室、技術教室、第2パソコン室などが完成しました。また、新校舎の教室にプロジェクターを設置するとともに、本館教室も黒板からホワイトボードに変更してプロジェクターを導入し、その設備を使用して新たな教育が展開されております。その他、慧光館(第2期工事により完成した校舎)1階には、授業や放課後のクラブ活動など体育施設としてだけでなく、多岐にわたって使用することが出来る多目的ホールとして「角田ホール」(元同窓会長の角田正紀さんのご功績により命名)が作られました。また、第3期工事で完成した興仁館は、太田川に面した環境の良いところに立地しており、2階にランチルーム、3階に図書室を併設したラーニングコモンズが作られています。ラーニングコモンズでは、大学入試改革に対応すべく、これまでの講義形式の授業から生徒たちが主体的に学ぶ授業が展開できる設備となっています。解決すべき課題を発見する力、学び続ける強い意志、協働により課題解決の道筋を切り拓く力をつけていけるよう新たな施設を大いに活用して研鑽しているところです。

昨年度の様々な教育活動に関してですが、進学実績におきましては例年並みの結果を残すことができました。大学合格状況は、国公立大学に53名の合格者を出しました。おもな大学としては一橋大学1名、九州大学2名、広島大学5名、山口大学13名などとなっております。私立大学は、慶應義塾大学に1名、GMARCHに13名、関関同立に51名、また教育連携校である龍谷大学には36名合格しました。さらに、広島修道大学、広島工業大学、広島経済大学、広島国際大学などにも多数の合格者を出しました。特徴としては、関東圏の合格者が減少し、関関同立が約倍増するなど近畿圏が増え、地元大学への志望が相変わらず続いています。

クラブ活動においては、中学・高校ともよく頑張っておりますが、高校では全国大会に多くのクラブが出場しました。インターハイでは、ボクシング部がフライ級で優勝、ウェルター級2位、ライトフライ級3位、学校対抗の部で2位となりました。柔道部は個人100Kg級2位、100Kg超級でも2位となりました。国民体育大会では、ボクシング部はフライ級で優勝、ウェルター級2位、ライトフライ級3位の好成績を残しました。バレーボール部は少年の部で2位、自転車競技部はスプリント6位、陸上競技部は100m6位、4×100m2位となりました。全国選抜大会には、ボクシング部、柔道部、自転車競技部が出場しました。また、文化部においては、新聞部が全国高校総合文化祭で文化連盟賞を受賞しました。さらに中学校でも、柔道部が全国中学校体育大会に出場し、団体3位、個人90Kg級5位となりました。このように、同窓の皆さまの多面からのご支援により、素晴らしい結果を残すことができましたことに対しまして心からお礼申し上げます。今後とも温かなご声援よろしくお願い致します。

最後になりますが、開校以来140有余年大切にされてきた「親鸞聖人のみ教えを根幹に据えた人を育てる心の教育」を具現化させ、「感謝の心」と「思いやりの心」を育み、その上で、勉強やクラブ活動などに精一杯励むことができる生徒を育て、一人ひとりが自分らしく輝いていけるよう私たち教職員も精進して参ります。同窓の皆さまにおかれましても、母校の生徒の頑張る姿に期待していただき、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大地の恵みをいっぱいを受けた元気な  
国産原料を中心に昔ながらの製法でお  
酢を造っています。

これからも、お客様に喜ばれるおいしく  
て、体に良い商品を真心込めて造ってま  
いらいます。

代表取締役社長 大地克史  
昭和51年卒



セナリ株式会社 大地

TEL 0120-080-029 FAX 082-810-3111  
http://www.sennari-oochi.jp

取締役会長

瀧口 裕行 Hiroyuki Takiguchi

昭和29年卒

株式会社 アルファワールド

〒194-0032 東京都町田市本町田197-10  
TEL. 042-812-3005 FAX. 042-812-3005  
E-Mail jose-hiroyuki@ab.auone-net.jp



中国醸造

お酒は20歳を過ぎてから。

54年卒 光若 由啓 電話 03-5475-6051



## 新世代に引き継がれる伝統に期待!

崇徳学園同窓会会長 山本 千曲 (昭和51年卒)

母校同窓会関東支部会員の皆様、平素は同窓会活動に何かとご理解ご協力賜り誠にありがとうございます。

さて関東支部におかれては、昨年度総会において長らく支部会長として支部を纏めて頂いた黒川さんがご勇退、室崎さんが新会長としてご就任され新たなスタートを切られました。同窓会役員一同も室崎会長のご活躍を大いに期待をしております。また昨年9月29日にホテルグランヴィア広島にて平成30年度同窓会総会・懇親会を開催致しましたところ、室崎会長はじめ関東支部役員の皆様にはご遠方よりご来場を賜り改めて深く御礼申し上げます。

さて今般天皇陛下におかれてはご高齢などの理由で譲位に伴う皇位継承が行われ、5月第126代新天皇陛下御即位により新元号「令和」の時代が幕を開けました。30年余りの「平成」の時代、日本社会はバブル経済とその崩壊を経験。低成長時代に突入し、少子高齢化が進み、阪神大震災や東日本大震災といった自然災害に立ちすくむ、一方、ライフスタイルはITの爆発的な普及で一変。今後とも戦火に苦しむことなく、平和が続くよう令和に希望をつなぐことになりました。

我々母校も明治・大正・昭和・平成と145年の長い歴史と宗祖親鸞聖人のみ教えを建学の精神におき、文武両道で地元にも大きな影響力で伝統を刻む中、4万名近くの卒業生を会員とする私たち同窓会は、「徳を尊び、思いやりの心を起こす」という「崇徳興仁」の精神で、歴代の会長、役員の方々が築いてこられた「顔の見える同窓会」として、学園主要行事への参加や毎年恒例になった崇徳祭への出店に加え、教育振興基金を活用して頑張る後輩達への奨学金を贈ると共に、全国大会出場などで大活躍の各クラブ部員達への熱い声援、関東支部や関西支部など全国にまたがる同窓会のネットワークへの支援、また崇徳学園PTAの保護者役員の皆様方との懇親会を開催して様々なご意見を参考にしながら後輩達の今後の活躍を支援して参りたいと存じます。

一方母校に於いては、2016年から3年をかけて新校舎の建築と本館リニューアルが行われ第一期工事が角田ホールを備えた中学棟として「慧光館」が完成、翌年には特別教室を備えた「清光館」、そして本年1月にランチルームや図書館とラーニングcommonsを備えた「興仁館」が完成し教育環境の更なる充実が図られましたが、この度の校舎改築工事際し広く寄付募集をご案内をさせて頂きましたところ、多くの皆様よりご協力を賜りましたことここに改めて深く感謝申し上げる次第です。

更には文武両道の男子校として145年の歴史を刻んだ母校も、学びの充実を図り時代の変化に対応すべく、来年4月特別進学コースから女子生徒の受け入れを始め、2021年度からは中学も含め全面的に男女共学とされることになりました。

これを機に新世代においても建学の精神に基く伝統を守りながらこの先創立150周年という大きな節目に向けて、更なる躍進を続け誇りのもてる母校の飛躍と在校生への応援がしっかりとかなえるような同窓会をめざして、今後とも役員や幹事の皆様と精一杯精進努力して参りますので、改めまして関東支部会員の皆さんどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 剣道部近況報告

崇徳高校剣道部顧問 広田 勝宏

現在剣道部は、高校3年生4名、2年生5名、1年生5名の計14名と、中学3年生3名、2年生4名、1年生4名位の計11名。総計25名で活動しています。部訓「至誠一貫」のもと、「剣道と勉強の両立をはかること」、「剣道は相手がいて初めて成り立つもの。したがって、人を大切に尊敬すること」を掲げ、「中高同時に日本一!」を目標に、日々稽古に励んでいます。

通常水曜日以外は稽古日であり、中学生も高校生と同じ稽古内容を行っています。中学生は常に高校生の稽古を見て、稽古をつけてもらえるという環境にあります。また、高校生は中学生を指導することによって、考える力や説明する力を養っていくことができ、中高共に人間的な成長がなされていると思います。

大会では、平成30年度は、中学が新人戦で優勝しました。高校も県大会では上位の常連校ではありますが、中国大会出場止まりであと一步のところまで敗退という結果です。これらの悔しさを胸に、生徒自らが、どうすれば勝てるかを考えながら稽古に取り組んでいます。

さらに、崇徳高校剣友会(OB会)では、毎週火曜日の稽古会(試験中や長期休暇中を除く19時~20時40分)を始めとして、毎年3

〒162-0821  
新宿区津久戸町1番地12号 中村ビル1F  
TEL.03-3260-5888  
電話注文・お持ち帰りも出来ます。

**広島お好み焼 広島っ子**

おきふ  
**生粋心 翁庵**  
東京都新宿区神楽坂1-10 アイダビル  
PHONE 03-3260-2715

新 家  
**柳家 福治**

電話 五十年卒 本名 山中英嗣  
FAX 〇三ー五三七二ー一八〇二

電話 四四年卒 本名 占部正夫  
FAX 〇三ー三八四五ー四一七九  
Email Ushih@gaol.com

**古今亭 菊丸**

パーティー・結婚式の司会・余興  
ゴルフ・旅のお供  
引越しの手伝い  
落語会等、その他何でもお電話ください

月21日には「崇徳興仁旗剣道大会」が小中学生を対象に開催されます。この大会は広島県はもとより、近県の道場からも参加をいただき、第13回大会では200チーム以上が参加する大きな大会となりました。また、さまざまな場面で、剣道部生徒に関わっていただき、熱い指導をしていただいています。

## 柔道部近況報告

崇徳高校柔道部部長 **元石 義己**

本校の柔道部は、ここ数年全国大会出場常連校に名を連ねています。毎年、全国高等学校柔道選手権大会が開催される日本武道館は、東京都の桜の標準木がある靖国神社からほど近いお堀端にあるので、今年も選手権大会のある頃が桜の開花日と重なり、柔道部にとってその風景は風物詩のように感じられます。また東京での開催ということで、崇徳学園同窓会関東支部から陣中見舞いにお訪ねいただくことは、感謝とともにとても励みとなります。

さて、柔道部は現在中学生17名、高校生24名で活動しています。ほぼ毎日の練習に加え朝練習も行っており体力的にはきついですが、習慣化することで生活によりリズムが生まれているように思います。ただ柔道をしていればよい、柔道で結果を出せばよいというのではなく、やるべき事をきちんとやることで周囲から信頼を得られ、その姿勢が普段の学習や進路実現にも反映すると信じて日々の稽古を続けているところです。

柔道部は現在、加美富章監督と藤井浩市コーチが熱心に指導をしています。学園からは近年の猛暑に対処してエアコンを設置していただいたり、寮を整備していただいたりと、柔道部の戦績は別の場所で報告されているので譲りますが、成果は着実に上がっていると言えます。我々スタッフ一同、多くの方に支援していただくなかで柔道に関われることへの感謝の気持ちを忘れずこれからも精進して参ります。今後ともご支援、ご声援よろしくお願いたします。

## もう一度、母校を甲子園へ

硬式野球部監督 **應武 篤良**  
(昭和52年卒)

昨年8月1日より、硬式野球部監督に就任いたしました。『もう一度、母校を甲子園へ』という思いで、日々指導にあたっております。

現在部員は、3年生27名、2年生18名、1年生18名の計63名で活動しております。昨年の秋季広島県大会で3位に入賞し、中国大会に出場しました。しかし、準々決勝で創志学園に敗れ、今年の選抜甲子園を逃してしまいました。その悔しさをばねに一冬鍛え上げ、生徒たちは大きく成長しました。春季広島県大会で3位に入賞し、シード権を獲得、中国大会に出場することになりました。これまでの悔しい経験を活かし、生徒たちは日々成長しております。課題である投手陣もエースの藤田が一本立ちして、倉本や竹丸の台頭もあり層が厚くなりました。

今年の夏の広島県大会で優勝をして、必ず甲子園へ出場します。

## 数学研究部近況報告

数学研究部顧問 **岩崎 晃**

数学研究部は現在、月曜日に3年生、火曜日に2年生、水曜日に1年生が活動しています。基本的には放課後の空いている選択教室を活動場所とし、3年生は自分たちが色々なところから持ち込んだ問題（先日は広島大学のAO入試の問題）をディスカッションしながら解答作りをしています。2年生は、自分たちで取り扱いたい分野（先日は数列の漸化式）を選び研究、1年生は、入部したばかりでどんなことをやっていきたいか話し合っているところです。

各学年に分かれて活動しているのでそれぞれ週1回の活動になっていますが、生徒たちが積極的に参加してくれているので楽しく活動できています。他のクラブにも所属している生徒も多くいます。文化系のクラブに複数所属することで充実したクラブ活動を送っている生徒がいるのが数学研究部の特徴です。



この度、弊社工場は自主的な衛生管理を推進すると共に、一定水準以上の食品衛生管理を行っている認められる施設として、広島県食品自主衛生管理認証を取得致しました。

株式会社 **山 豊**

〒731-3196 広島市安佐南区伴東町79-2  
TEL 082(848)7778(代) FAX 082(848)2334

0120-311238

URL <http://www.yamatoyo.co.jp>  
e-mail [y-info@yamatoyo.co.jp](mailto:y-info@yamatoyo.co.jp)

心のこもった旬の広島菜漬「安藝菜」を、大切なあの方へ…



内閣総理大臣賞受賞  
農林大臣賞受賞  
農林水産大臣賞受賞  
H.14 S.50 S.46



あきな **安藝菜**

会長 山本 豊 (昭和19年卒)  
代表取締役 山本 千曲 (昭和51年卒)  
山本 洋平 (平成19年卒)